



第12回 多職種勉強会を開催しました！

2/5(金)に多職種勉強会を開催しました。松阪地域の医療や介護の専門職165名に参加いただきました。

話題提供では、「シリーズ 連携がうまくいくコツ いかない理由②『3病院の入退院時連携を知る』」をテーマに、松阪地域の3つの急性期病院(済生会松阪総合病院・松阪中央総合病院・松阪市民病院)の退院調整看護師と医療ソーシャルワーカーの方々から入退院連携の取り組みについてお話をいただきました。入院時に退院支援の必要性を判断するためにスクリーニングを行っていることや、必要に応じて退院後訪問を行い、退院後のフォローを継続していることなど、知っているようで知らないことがたくさんありました。共通した入退院連携の流れや、それぞれの病院の特色についても知ることができました。



グループワークでは、話題提供を通じた感想、質問、提案について話し合いました。普段から入退院連携に関わる機会が多い専門職の方だけでなく、あまり関わることがない方々にとっても、それぞれの立場で入退院連携について、知る機会になりました。



～参加者の方々の感想～

(勉強会アンケートより抜粋)

- ・急性期病院の入退院時の連携について、具体的にどういった働きかけが行われているかを知ることができて良かった。
- ・改めて入退院時の支援を学ぶ機会になった。立場が変われば、視点も違うことが分かった。
- ・入院時連携シートが活用されていることが分かった。
- ・在宅サービス側の意見、病院側の意見、どちらも聞けて視野が広がった。

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点の今年度の事業計画

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点は、今年の4月で3年目を迎えました。1年目、2年目に行ってきたことをさらに進め、新たなことにも取り組んでいきたいと思っております。

新型コロナウイルスの影響により、計画の内容や時期の見直しが今後必要ですが、現時点での今年度の取り組みについて紹介します。

＜松阪地域 在宅医療・介護連携推進事業＞
(連携拠点がやっている5つの重点項目について)

【地域の在宅医療・介護の資源の把握】

- ・今までに集めた情報の更新や新たな情報の収集を行い、専門職に発信します
- ・アンケート等で地域の専門職が求めている情報を把握します

【切れ目のない在宅医療と介護提供体制の構築推進】

- ・地域の実情を知るため、在宅医療・介護に関するデータの収集、分析を行います

【医療・介護関係者の情報共有支援】

- ・情報共有システム「すずの輪」の活用促進に向けた取り組みを継続していきます
- ・「医療・介護連携ハンドブック」を発行します
- ・広報紙「わおん」を2回/年発行し、連携拠点の取り組みを発信します

【在宅医療・介護に関する相談支援】

- ・医療・介護関係者からの相談を受け付けます
- ・相談窓口についての周知を行います

【医療・介護関係者の研修】

- ・多職種勉強会を開催します



今年度は、このような内容で取り組んでいます。よろしくお願ひいたします。

第1回「わおん」川柳 *テーマ『夏の思い出』*

地域の専門職の方々にも広報紙に関わっていただき、少し和む内容を盛り込みたいとの思いから、今号より川柳を募集しました。たくさんご応募ありがとうございました。

その中から3作品を選ばせていただきました。他にも楽しい作品がありましたので、いつか、どこかの機会で紹介させていただきます。

<p>夏 一 人 を 密 で 登 っ て 避 け る た き や な ぎ</p>	<p>金賞</p>	<p>網 戸 越 え ノ 音 色 屈 く 和 音 望</p>	<p>銀賞</p>	<p>(な つ う ま れ な つ こ)</p>	<p>こ れ し じ や な い ヨ ー イ ヨ ー 水 の 中</p>	<p>銀賞</p>
--	------------------	--	------------------	--	--	------------------

